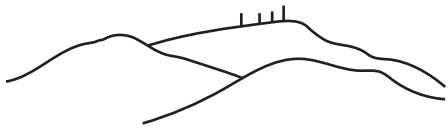


Youth Manna

2021/9/13 - 9/19



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/9/13(月)

Ⅱ 歴代誌 34:22-33

ヨシヤ王は、見つかった律法の書から、自分たちが滅亡の危機にあることを悟りました。女預言者フルダの語ったことばからも、ユダの地に激しい罰が下ることが示されました。神様は、ヨシヤ王の時代にはわざわざいがないことを語りましたが、許されるとは語られませんでした。

このような裁きの宣告を聞くと、どのような思いを抱くだろうか。失望して、全てを諦め、好き勝手な道を歩むだろうか。それとも、自らの罪を認めて、へりくだって神様に従うだろうか。

ヨシヤ王と民は、神様に従って歩むことを人々の前で決断しました。今、君が神様の前に決断すべきことはあるだろうか。手を止め、心を静めて、神様に心を向ける時間を持とう！

2021/9/14(火)

Ⅱ 歴代誌 35 章

ヨシヤ王は、エルサレムで過越のいけにえを献げました。過越はイスラエルの民がエジプトから主によって助け出されたことを記念する祭りだよ。神様によって救い出された者として、自分たちの信仰を確認する大切な祭りだったんだ。

この祭りをを行うために、特にレビ人の活躍が記されているね(10~15)。バビロンから帰還した人たちが礼拝を再び立て直していくために、レビ人の存在と働きを伝える必要があったんだね。

ヨシヤ王はその後、残念ながら戦死してしまいます。戦わなくても良かったのに、神様の御声を聞かず戦いに出てしまったんだ。自分が今本当にしなければならぬことを選ぶことが出来るように、お祈りして今日を始めよう！

2021/9/15(水)

Ⅱ 歴代誌 36 章

ヨシヤ王の愚かな行動は、エジプトがユダ王国に介入する口実を与えるものとなり、国の弱体化を招いた。後を継いだエホアハズは差し替えられ、兄弟のエホヤキムがエジプトの支配下で王とされた。しかし、エホヤキム王はバビロンに捕らえられ、息子のエホヤキンが王位を継いだ。バビロンは膨大な勢力でユダ王国を圧倒し、多くの民が捕囚としてバビロンに連れ去られた。その後バビロンによって、王位はヨシヤの子ゼデキヤに与えられたが、彼はバビロンに反旗を翻し、このことによってエルサレムは破壊され、王国は滅亡した。これらの出来事は、王たちの失敗によるものではなく、ユダの王と民が主に背く歩みが続けたからである。王や民は偶像を拝み、主に願うこともやめてしまったのである。

祈り：主に従う選択をし続けて行くことができますように。

2021/9/16(木)

詩篇 101 篇

2 節「私は、全き道に心を留めます。…私は、家の中を、全き心で行き来します。」とタビデは全き心で歩む決意をしている。「家」はもっとも人の心、感情がオープンになるところではないだろうか？外でどのように飾ろうが、家では素がでる。だからこそ家での態度、行動が私たちの罪を教えてくれる。家での態度、行動はどうだろうか？

3-8v で、偽りや不正から距離をとる、悪口を言うような者とはともにいない、奢った態度の者とはいない、嘘を言ったり人を裏切るような人といないなど、クリスチャンとして本来当たり前なのが述べられているがそれを選んでいるだろうか？

自分自身の行動、選びを見直してみよう！必要があれば悔い改めよう！

イタリア料理の日 2021/9/17(金)

詩篇 102:1-11

▶この詩は、バビロン捕囚の末期に記されたと推測されている。なので、主の激しい憤りと怒りは、詩人の罪が原因というより、イスラエルの罪に対して下された主のさばきを意味しているだろう。

▶10 節「それはあなたが 憤りと激しい怒りのゆえに 私を持ち上げ 私を投げ捨てられたからです。」は救いにつながる言葉だ。今の状態は主が引き起こされたのだから、回復もまた主が与えてくださるといふ信頼が、この言葉にはある。神の許し無しには何事も起こらない。

▶神様はあなたの今の状況を知っておられ、あなたを愛の御手で包んでおられる。主に信頼して生活しよう！

2021/9/18(土)

詩篇 102:12-28

今日の箇所を書いた人は、かなりのピンチの状態で、しかも健康さえ損ねている、あざける者が苦しみをさらにひどいものにしてくる、そんな辛い中にいたみたいだね。だけど、それでも神様に信頼して祈りながら心を注ぎ出していた。それは神様がご自分を頼るものを決して見捨てず、その祈りを軽んじない方だと信じていたからだね。

神様の愛に信頼していたからこそ、自分の辛さを受け止めつつそれを越えて偉大な神様の存在に目を向けることができたんだ。神様は君のことを愛している！その愛をじっくり目を閉じて味わう時間をとってみよう！

できればその時何を感じたかメモしてみよう！

2021/9/19(日)

詩篇 103 篇

「わがたましいよ 主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」

主が良くしてくださったことを、あなたは忘れることなく、覚えることができます。日々、目の前の毎日を精一杯生きていく中で、私たちはいとも簡単に、神様からいただいた恵みを忘れてしまう者です。主が良くしてくださったこと、とは何なのでしょう。

この箇所では、まず「すべての咎を赦し」と言っています。罪深い私たちが赦され、受け入れられ、愛されていること、そのことに勝るものはありません。どのような時であっても、その恵みが注がれ続けています。毎朝その恵みを受け取り、忘れることなく、出ていくことができるように祈ろう！

私の一生を良いもので満たして下さる神様、今日あなたの愛を受け取ります。どうかいつもあなたに満たされて歩むことができますように。